創世記24章　　2012/11/6

一応、23章は飛ばすとのことでしたが概要だけ…

◎23章の概要

サラ亡くなる→ヘトの人に埋葬を快諾して貰える

・オリエント風の礼儀正しさと古代近東の財産法に則ってるらしいゾ！

・アブラハムの子孫によるカナンの地の所有を予兆しているらしいゾ！

→イサク、ヤコブ、レア（アブラハムの子孫たち）はここに葬られるらしい

・ヘテ：カナンの子らの一人、ヒッタイト人の祖先。（「聖書大辞典」（教文館）より引用）

では、24章に入りましょう

◎24章の概要

アブラハムが僕にイサクの嫁探しを任せる→アブラハムの出身地に行ってぴったりの娘を見つける

**・アブラハムの出身地どこだっけ？（とりあえず）**

ツ：ウル

○初見の感想と疑問点と調べたことをつらつらと…

2：この僕は15:2に出てきたダマスコのエリエゼルらしいゾ（トップ奴隷らしい）

**2：腿の間に手を入れる？？**

**・神との契約を確認する習慣らしいがなんで腿の間なの？**

五：なんか・・・無防備だから？

S：五に賛成

T：割礼しているかどうかのチェック

→正解

**3：カナンの人とはなんで結婚しちゃいかんの？（そこそこ重要）**

瀧：カナンの女は股の下が緩いから？居留地だから？

T：カナンは呪われよとか言われていたから？

マ：異教信仰だから

→正解

T：地元は同じ主を信じているの？

け：そのとおりです　ここが一番大切、あとでSQできくよ！！

**け：そういえば「鼻輪」って？**

五：1ベカは5.7gらしいです。

6-8：イサクはあっちに行っちゃいけないのか。神との約束だから仕方ないね。

**10：アラム・ナハライムのナホルの町について（最終ページの資料を参考に）**

け：アブラハムとの関係性は？

五：アブラハムの地元に近いところ？

け：正解。黄色い地図参照、カラン＝ハラン

→黄色い地図の「ウル」と遠い・・・ウルという街はふたつあったのでは？説が。

地図2、聖書に出てくるウルは北部だっとする説も。

16：何となくスジャータを思い出した（アイスクリームのメーカーではない

**55：そりゃいきなり連れて行かれたら親も困惑するよね**

け：なぜ僕は急いだ？

→アブラハムは歳をとっているからだろうか。

け：ネゲブ位置・地図2左下

**67：嫁姑問題が起こらなくて良かったね。**

け：サラが先に死んでよかった・教育ババアになりそう。

マ：めっちゃわかる

**T：なぜ水？**

け：水は貴重なのでは。

**瀧：全部「主によって」というのが言われているのは大切なのでは。**

T：確かに、両親やリベカの反応を見ても、アブラハムとの信仰が共有されていそう。

**瀧：教義を守るというのはすごい。鎖国の長崎、隔離・弾圧された世界で300年も同じ教義が続いた。**

T：魔改造されすぎて一度破門されていた気が。

け：開国の瞬間、みんな「自分はキリシタンだ」とフランス領事館に泣きついたとか。

遠藤周作の「沈黙」とか読んでね。

瀧：向こうでは「隠れキリシタン」とは言わず、「潜伏」というらしいね。

**S：47節で、なぜ両親の名前ではなく、祖父母の名前を？**

け：アブラハム世代に合わせた答え方なのでは。

Special Question

**○嫁が何教だったら大丈夫？（嫁じゃなくて家族でもおｋ）**

**→T：配偶者に求める宗教観**

け：キリスト教については、熱心な信者でもだいじょうぶかな。色々見てきたし。

ボーイスカウトをしていたが、当時浄土真宗のお寺で活動していた。種々行事にも参加して違和感はない。親父が出家するとか言い出したら困るけどな…?!

主要宗教は、信仰以前に生活が考えられん。

→瀧：イスラムの人は意外と日本にいるらしい。

→T：普通に豚肉食ってるらしい。

け：結婚するなら、便利な方が良くね？

→瀧：どちらかというと、「実感がわかないのでは？」

→T：キリスト教信者より新興宗教信者の方が日本は多いですよ。

け：世間体は、俺的にはひとつの指標になっているのだ。

T：毎週日曜日ミサや、正月禁止とかになると厳しいかな…

逆に、親が創◯で創◯二世だけど全然活動していないとかなら、全然おｋ。

け：俺はいやだなあ。恒常的にストレスを抱えそう。

瀧：日本だと気づきづらいよな。

T：無宗教葬も多い。理由は、ちょっとアレな宗教の信者だったりして、世間体的にそういう宗教をあげられないという時にはあるらしい。

五：山形の親戚に金光教が居るが、そんなに教義をふりかざしはしない。単なるコミュニティみたいなものだが。しかしお金がかかりそうで、大変。

瀧：テ◯サーみてえだな。

マ：キリスト教もカネはかかるんじゃないですか。

T：浄土宗が一番安いらしいですよ。

瀧：浄土真宗はヤバイらしい。

S：爺さんは無宗教だったが、婆さんはめちゃくちゃ熱心な信者だった。

今では爺さんの方が熱心かも。洗礼も受けている。

け：自分が熱心になるイメージがなかった。

（ここで先生登場）

Y：学◯は大変だよ。事あるごとに連れて行かれるからねえ

寛容はないと厳しいよね

結婚して彼側はそうでもないんだが、実家が難しい宗教。嫁と姑とがうまくいくために、色々連れて行かれて大変だったという話。

結婚している段階で数には数えられるよ（公◯党票の）。

嫁という言い方は外ではやめましょう。最悪妻と呼びましょう。「女に家」と書くしね。

**○嫁について妥協できるところ、できないところを何なりと（同上）**

T：理屈っぽいのは嫌だ。バカがいい。自分と似ている人は衝突しそうで面倒くさい。

Y：順応性のある子ね。

瀧：目的意識がないってことか

ツ：ウチの妹もそうだ

Y：で、自分色に染めたいの？

T：そういうわけではないです

五：＠女バージョンは駄目ということですね。

一同：ああーッ！！！

け：嫌いなものしかない。消去法になってまうからな…

俺の人格の欠陥かもしれない… 人を嫌いにしかなっていかない。

僕は目的意識がすっごい先行している人は絶対にだめかなあ…

S：け兄ヒモになれませんよ。僕はヒモになりたいです。

マ：相手の親が資産家だったら良いかも。

T：それなら、相手の家が学◯でも我慢します

瀧：確かに、札束で頬を打たれたら…

Y：昨日義理の叔母（妻の叔母さん）の葬式で車を置かせてもらいました。土曜日は結婚式でした。両方それをやったから、少し微妙でした…

僕は教会に仕えているんだけど、家族でする時は「坊主」が居るのと一緒で、冠婚葬祭をやらさられる。

義理の父の家はクリスチャン信仰の家ではあるが、洗礼は受けていないし信仰は持っていない、そんな家の嫁。結婚した旦那さんは、信心のあつい仏教の方。

「寛容」「配慮」がやはり大事。創◯が駄目というより、「これかあれか」という二元論がいけないのでは。

無宗教の葬式はかなり大変だ。何をやって良いかわからない。95歳大往生の爺ちゃんを無宗教で行うとしたら、何を言えば良いのか？何もなしなら、寂しすぎではないか。

人前結婚式でやろうにも、卓越した司会者無しにはまあ間が持たない。

旦那がキリスト教信者じゃなくても、こちらがちゃんと筋道たててやればしっかり形になる。

Y：「あんたのお母ちゃんじゃないのよ」とよく嫁に怒られる。基本的にあいつは目的意識持っていなくて面倒くさいよ笑 いま10歳下で33歳だけど、芸大の収支に受かってしまって来年から学生なんだよ。でも、僕は家でゴロゴロしながら仕事をしているんだけどさ、嫁にやることがなくて家にいられるのは面倒なわけ。「互いがそれぞれにやりたいことがある」のは良いことだと思うよ。やりたいことを互いに潰し合う夫婦は、定年離婚する。

結婚後は、今まで向かい合っていた状態から、お互いが前を向く状態となる。そのため、それぞれがひとつの人格でないといけない。

・アブラハムの移動に関する資料

　（カラン＝ハラン）

・新説

